

USB 機器の取り外し

USB 機器を安全に取り外すためには、「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」アイコンをクリックして、表示された一覧から取り外す周辺機器の項目をクリックし「ハードウェアの取り外し」が表示されてから行うことが推奨されました。

USB 機器に書き込む速さが十分でなかった頃に、アプリからの書き込み完了までの時間を短くするため、いったんOSが書き込むデータをキャッシュし（ため込むこと）その後USB機器に書き込んでいました。従って、アプリからのUSB機器に書き込みが表面上は終わっていても実はまだUSB機器に書き込みが完了していなかったのです。書き込みの完了を確認するために「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」アイコンをクリックする以下の手順が必要でした。

Windows10 のバージョン 1903 では、上記の手順なしでいきなり取り外すことができるようになっています。それは、OSが書き込むデータをキャッシュせず直接USB機器に書き込むことを標準の方法にしているからです。

この「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」アイコンをクリックして以下の手順は **Windows7** でも不要にできました。

その方法は、USB機器を接続して、以下の手順でデバイスマネージャーを開きUSB機器のプロパティのポリシーで「クイック削除」を選択することです。

1. デバイスマネージャーを開く

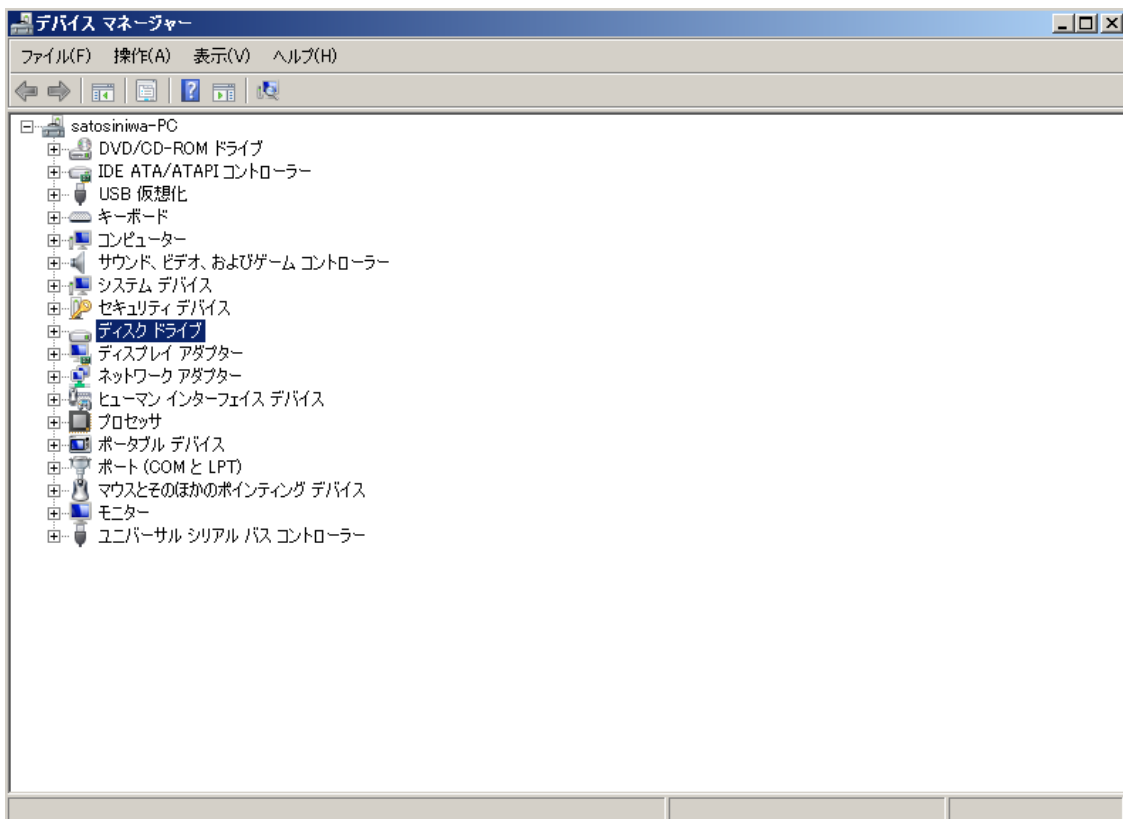
Windows7 の場合は、[PC]（コンピュータ、マイコンピュータ）アイコンを右クリックして [プロパティ] をクリックします。または、デスクトップ画面の左下にある [スタート] ボタンをクリックして表示されたメニューから [コンピュータ] を右クリックして [プロパティ] をクリックします。[システム] ボックスが表示されます。



この [システム] 画面の左にある [デバイス マネージャー] をクリックします。

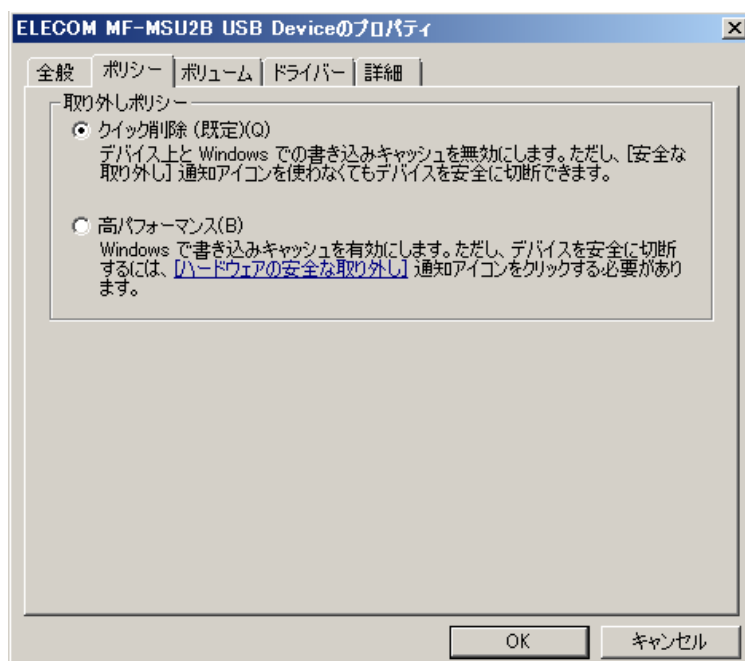
Windows10 の場合は、[スタート] ボタンを右クリックして表示されたメニューの [デバイス マネージャー] をクリックします。

2. Windows 7 の場合は、[ディスクドライブ] の左にある [+] マークを



Windows10 の場合は、[ディスクドライブ] の左にある右向き山形マークをクリックします。

3. 表示された、ドライブのうち [××USB Device] を右クリックし、表示されたメニューの [プロパティ] をクリックします。
4. 開いた [××USB Device] ダイアログボックスの [ポリシー] タブをクリックします。



5. [取り外しポリシー] の [クイック削除] をクリックして選択します。
この説明で「デバイス上と Windows での書き込みキャッシュを無効にします。」とあるのが、直接 USB 機器に書き込むことを意味します。
6. [OK] ボタンをクリックすると設定され、以降、「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」アイコンをクリックする以下の手順をせずに USB 機器を取り外しても問題ありません。

Windows10 バージョン 1903 は、[クイック削除] を既定にしているとのことです。